

NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは

ゆずりは

会報誌第16号 令和元年10月15日発行

法人名の由来である「ユズリハ」という植物の名は、新しい葉が伸びて古い葉が落ちることから、世代が絶えることなく引き継がれていくことを意味しています。この「ユズリハ」のように私たちの活動も、芸術家を目指している若い演奏家の育成を目的としています。また、その活動がこころ豊かな社会づくりに貢献することを願っています。

ごあいさつ

NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは
代表理事 和泉 喜久男
(認定こども園 難波愛の園幼稚園園長)



会員の皆様をはじめ、関係の皆様方には、平素より本法人の活動にご理解、ご協力及びご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

本法人は、将来芸術家を目指す青少年や現在活動中の芸術家に対して、演奏の場を提供し演奏技術等の向上を図って頂くこと、また、幼児から高齢者まで様々な年代の方にその演奏を聞いて頂くことで心の栄養となり、明日への生きる力になるなど心豊かな地域社会の文化の向上に寄与することを目的としています。これまで、保育所や幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、病院、ホテル、介護施設、自治体など様々な団体から演奏依頼を頂いた際には、できるだけコストを抑え依頼者のそれぞれの思いに沿った音楽構成を提案し演奏をしています。幸いにもご依頼頂いた団体様からは、お陰様でいつも好評を頂いております。

さて、本県では、県立芸術文化センター大ホールにおいて、中学一年生対象に「わくわくオーケストラ教室」と称し、同ホール管弦楽団の演奏による鑑賞教室を行っています。小学校は、各自治体により取組みは異なります。例えば、西宮市では「西宮市小中学校アウトリーチ事業」と称し、音楽(クラシック、邦楽、民族楽器)、ダンス、美術のプログラムを各学校が選択し、芸術鑑賞の機会を持っています。高等学校の現状は、県からの補助もなくなり各学校の判断で芸術鑑賞を実施しているとのことです。私が在任したある高校では、芸術鑑賞は音楽、古典、演劇の各分野を高校3年間のサイクルとして鑑賞会を実施していました。

文化芸術の意義は、「豊かな人間性を涵養(かんよう)し、想像力と感性を育むなど、人間が人間らしく生きるための糧となるものである」(文化庁より)とあります。各高等学校での豊かな心を育むための音楽鑑賞をはじめ、保育所や幼稚園、小学校、中学校、専門学校、病院、ホテル、介護施設、自治体病院、ホテルなど様々な施設等で音楽に関するイベントを企画される際には、本法人に声をかけて頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します

本法人へのご理解とご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

第6回 音楽のひろば～アンサンブルの集い～

兵庫県立芸術文化センター小ホール★2020年2月1日(土)13時半開演予定

2台のピアノや弦楽器、管楽器によるアンサンブルの魅力ある演奏をお届けします!

第9回 ゆずりはコンサート～東日本大震災被災地支援コンサート～開催決定

兵庫県立芸術文化センター小ホール★2020年7月31日(金)18時半開演予定

2019.7.6 第8回ゆずりはコンサート～東日本大震災被災地支援コンサート～
兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール



司会：薬谷 佳苗



廣島 拓弥 Ob.



渡部 陽翔 Pf.



藤岡 晴佳 Pf.



高橋 奏海 & 花音 Vo.



仲谷 寧夏 Pf.



村上 順子 Vn.



松浦 紫陽 Pf.



横島 里奈 Vo.



竹田 景子 Pf.



木寺 里穂 Sax.



酒井 友芙未 Pf.



金 未卵 Pf.



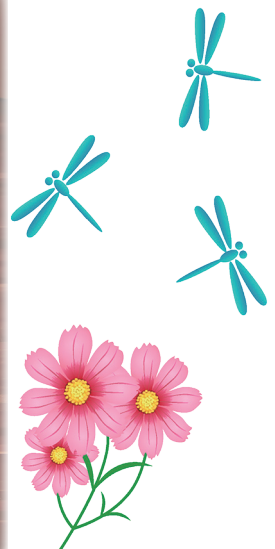
三田 智美 Fl.



後川 裕大 Cl.



清水 悠宇 Pf.



★9月21日★

三木市立中央図書館

おとなのための わくわく夜の図書館 コンサート

関西国際大学サービスラーニングプログラムの一環としておこなわれた、三木市立中央図書館の催しに行ってきました。いつもはひっそりとした夜の図書館、ガラス張りのおしゃれなエントランスで、おとなの方がわくわくと心惹かれるようなコンサートという企画。ソプラノサクソ（森高彩）、アルトサクソ（木寺里穂）、ピアノ（酒井友芙未）の音色に、ご来場いただいた100人余りのお客様もうっとりとして聞き入っていただきました。



留学体験記



ウィーン奇・紀行

菅田 真弓



「ありがとう。私のアナザースカイ！」これは帰国の日、ぼつりとウィーンの街に残してきた言葉。私のアパートからすぐにあるシェーンブルン宮殿の裏丘からは、ウィーンの街が一望でき、行き詰まることさえあれば、ここで大きく深呼吸して気持ちを整えたお気に入りの場所でした。

大学院1年の頃、ドイツものをより深く学びたく、ウィーン国立音楽大学の受験を決意しました。いざ留学が決まり、意気揚々と日本を発ったまでは良かったのですが、いざ現地の生活が始まると、取得したつもりドイツ語が上手く伝わらない。必要書類も完璧なのに、現地の怠慢な職員の気分一つで、ビザ取得が一向に進まない。そして何より、憧れのドイツ人先生のレッスンは、一音一フレーズにとっても厳密で、どんなにピアノを弾きこんでレッスンに向かえども、数ページしか進まない事もあり決して妥協も許しもない音楽作りでした。そんな戸惑いの中、私の安らぎは、日本から持参した大好きな“あんこ”を毎日少しずつ食べることに、あのシェーンブルン宮殿からの眺めだったのです。

そんな私が、ウィーンに慣れた頃、持てぬ程の荷物と共に赤穂から両親が来唄。自分達の着替え等を極減し、日本食を詰めに詰め、まだ詰めたその気持ちに感謝。その報恩にとウィーンを堪能して欲しく、滞在8日間は朝から夜までの激激タイトな観光を強行しました。ある時は、予約のオペラ鑑賞に遅刻しそうだと両親に全力疾走を要求。そんな旅を両親はどう感じたかは謎ですが、私は完璧な(?)名案内人を務めたと自負しております！

ウィーンは、街全体が芸術仕様。歴史と文化が見事に共存し一流芸術が、日常に溢れ身近に触れ感じる事が出来る街。求めるに応じ十分満たされる素晴らしい街。学ぶに贅沢すぎる街です。とにかく一言で言い尽くせぬ程の素敵な街です。諦めない！努力と行動！強運しさを与えてくれた私の大好きな街ウィーンに、日本より心を込めて「ありがとう。私のアナザースカイ！」



※留学体験記、リサイタルを終えた感想、日常の思いなど、会員の皆様のご寄稿を募集しております。ご協力くださる方は事務局までご連絡ください。 yuzuriha.office@gmail.com ☎ 070-5652-8878

理事就任のごあいさつ

兵庫県立西宮高等学校長
萩原 健吉



みなさま、こんにちは。本年4月1日に創立100周年を迎えた本校の校長として着任しました萩原と申します。かつて昭和63年から16年間、本校でお世話になり、その後、県教育委員会で教育行政を15年間、担っておりました。専門教科が商業であった関係で、本校在籍当時は主に国際経済科の生徒たちを指導し、校内では常に音楽科に追いつけ追い越せと生徒たちを叱咤激励していました。また、陸上競技部の顧問として、卒業後、オリンピックの女子マラソンで日本代表となった坂本直子さんや中村友梨香さんをはじめ、文武両道を地でいく生徒たちと苦楽を共にしたことも懐かしい思い出です。

さて、ゆずりはのみなさまの活動は、これまでから祝賀会等で折に触れて聴く機会があり、そのレベルの高さに心からの感銘を受けています。本校の卒業生を中心に、若手演奏家の活躍の場を支援していただけることは、本校の音楽科にとってたいへん心強い存在です。

微力ながら理事として、私もゆずりはのさらなる充実・発展に貢献できるよう、精一杯努めますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

芸術の秋には新響ゆずりはライブへ!

この秋、しっかりと生の音楽を楽しんでみませんか?
近日開催されるライブは次のとおりです。皆様のお越しを心よりお待ちしております!

新響甲子園ホール (阪神甲子園駅よりすぐ)

入場無料

- 10/19 Sat.** 島多 璃音 (ピアノ)
オール・ショパン・プログラム
- 10/20 Sun.** 平井 菜月美 (ヴィオラ)
西前 菜々子 (クラリネット)
黒田 桃子 (ピアノ)
- 10/26 Sat.** 山崎 圭智・森岡 真央 (トロンボーン)
渡邊 梨香子 (ピアノ)
- 11/9 Sun.** 小幡 美雨・北得 有希子 (ピアノ)

詳細はホームページをご覧ください。

ときめきコンサート2020冬

2020.2.29 Sat.

18:00 開演

神戸文化ホール中ホール

指揮：松井 隆司 氏

管弦楽：グランツフィルハーモニー管弦楽団

協奏曲ばかり4組で構成された魅力たっぷりのコンサートです。本年春に当法人からも参加者を募集し、2名のピアニストが出演します。

J.M ラヴェル / ピアノ協奏曲 ト長調

独奏：井上 由貴奈

F. ショパン / ピアノ協奏曲 第1番

ホ短調 作品11

独奏：森 理菜

入場料：2,000円

チケットのお求めは「ゆずりは」事務局まで

発行・お問い合わせ先：NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは

Tel. 080-3760-4023(代表) 070-5652-8878(事務局)

Mail: yuzuriha.office@gmail.com ホームページ: <http://yuzuriha-art.or.jp/>